



うなぎセミナー

盛況のうちに終了！

フラッシュ Vol. 5

令和元年6月1日 発行

南三陸・海のビジターセンター
宮城県本吉郡南三陸町戸倉字坂本2-1-1
TEL&FAX 0226-25-7622

石巻・川のビジターセンター
宮城県石巻市北上町十三浜字東田1
TEL&FAX 0225-24-6506

メール center@kawatouminovisitorcenter.jp

講師 青山 潤氏

座右の銘

人生にブレーキは掛けない！



納得の
滋養強壮！

往路復路 8000km の大移動！！

西マリアナ海嶺 ⇄ 日本海

その生態に謎が多いうなぎに関するセミナーが5月11日に石巻・川のビジターセンターにて開催されました。講師は長年うなぎ研究に携わる青山潤氏をお呼びしました。十数年の先生の調査により東大気海洋大学研究所には世界で唯一、19種類のうなぎの幼魚（レプトセファルス）の標本が保管されています。セミナーの参加者はうなぎの不思議さや魅力に大変関心を持ち、質問も積極的に出る活発な会となりました。

産卵場所 ながらく謎であったが平成21年に世界で初めて西マリアナ海嶺でニホンウナギの卵を32個発見！19種のうち産卵場所がほぼ特定されているのはニホンウナギのみであるそうです。

驚異の移動距離 うなぎは回遊する事は知られていたが、その距離は西マリアナ海嶺まで4000kmの距離。4、5年掛けて故郷の海に戻るそう！そして親になりまた産卵の為に西マリアナ海嶺まで戻るといふ長距離移動をこなす体力の持ち主。

産卵時の姿 うなぎの表面はヌルヌルとした体液がありますが、産卵時期にはなんと鮫肌のようにザラザラとした姿になるそうです。そして尻尾は硬く変化するんですって！

体内時計の調整 産卵の為に4000km離れた西マリアナ海嶺まで帰る中、辿り着く前に産卵をしてしまわないようにうなぎは体内時計の調整をしているそう。それは日中の移動は水深200mくらいのところを泳いでいて、夜になると体内時計の進みを遅くする為に水深800mまで潜り移動するらしいです。そして翌朝には200mまで浮上するという上下運動を繰り返しながら目的地に向かって進むんだそうです。



▲うなぎに魅了されたセミナーの様子

人と生き物にやさしい 畑づくり勉強会

6/15 (Sat) 13:30~15:00

畑

集合：石巻・川のビジターセンター
講師：(株) えか自然農場 小野内裕治社長

料金：無料

対象：小学生以上

定員：30名

千葉県流山で、えかオーガニック農場という、自然環境に配慮した安心・安全な野菜・果物・お花を栽培し、野菜狩り体験も運営されている株式会社えか自然農場の小野内裕治社長にお越しいただきます。有機 JAS 認証と千葉 GAP 認証も取得されている人にも生き物にもやさしい畑の作りの勉強会へぜひお越しください。



三陸ウミガメ Day!

6/30 (Sun) 13:00~16:00

集合：南三陸・海のビジターセンター
講師：ウミガメ研究者 福岡拓也さん



料金：100円

対象：どなたでも

定員：入退場自由

※セミナーは30名程度

ウミガメ研究者福岡先生をお招きして三陸沖やってくるウミガメの不思議をお聞きます。大槌の東京大学大気海洋研究所・国際沿岸海洋研究センターから、南三陸町の海で確保されたウミガメのはく製(お触りOK!)などを持ち込んで、その知られざる生態に迫ってみたいと思います。クイズにも挑戦しウミガメづくりの1日にしましょう♪

参加申し込み書

希望講座	人と生き物にやさしい畑づくり勉強会 ・ 三陸ウミガメ		
ふりがな	性別	生年月日	
お名前			
※ 小学生のみ	学校名 小学校	学年 年生	保護者のお名前
ご連絡先	電話番号： メールアドレス：		
ご住所			

お問い合わせ

南三陸・海のビジターセンター

受付時間：9:30~16:30・火曜休館

TEL/FAX:0226-25-7622

メール:center@kawatouminovisitorcenter.jp

—これらの企画は経団連自然保護協議会の支援により実施しています—